

重点課題実行計画書&重点課題作業工程表

<<「重点課題実行計画書&重点課題作業工程表」の扱いについて>>

1. WS参画者の担当化により作成された原案を基にPCデータ入力しました。
2. 原案作成の時間が充分でなかったことからテーマ担当者間の協議不足から講師が加筆修正(朱書)しています。
3. 各重点課題相互の間に共通事項・関係事項があり協議や調整が必要な部分が散見されます。
それだけ今回は演習ではあるもののこのテーマ「山形市策定の「市民活動との共創指針(案)」にあるコンセプト『山形らしさ』につながる「市民活動のあり方」について検討&提案する」を実現するという作業はタイミング的にも「本格的検討」に値するテーマと言えます。
4. 今回のWSがトリガー(契機)になり、今回の成果物『事業ビジョン・コンセプト・アクションプラン』が今後の山形市市民活動の展開の一助(参考)になれば幸いです。

個別テーマ計画書(添付1)

No	(a)
レベル1項目	市民活動が保有すべき機能(3本柱)の検討と確立
レベル2項目	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を支える「人(運用する人&サービスを受ける人)」 ・活動を支える「ソフト(しくみ)」 ・活動を支える「ハード)」
テーマ名	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動のネットワーク(中間支援、分野毎、etc)の構築 ・市民活動間及び行政と市民活動間の「橋渡し」機能の構築
現状	<ul style="list-style-type: none"> *ハード:既存のハードが十分に活用されているか *ソフト:行政と市民活動との間の連携の「橋渡し」機能が不十分(情報その他) *人:橋渡し&コーディネーション・マネジメントができる人材が少ない *異分野交流:産学官民の領域間&分野間の交流(人・情報)が不足
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> *ハード: <ul style="list-style-type: none"> 主なグループの現状分析により、適切な交流場所をリストアップし、マップとして整理して(WEB 情報・チラシなど)情報提供する。 *ソフト(しくみ): <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動に必要な情報交換のしくみ(インターネットのみに頼らない顔の見えるネットワーク等)、その掲示方法を盛り込んだ企画を作成し、その内容を調製して山形市市民活動支援センターのHPを使用して公開する。 ・HP以外にも適切な場所(支援センター、公民館など)に、チラシを設置する。 ・市民サイトの市民活動を支える機能のあり方を検討しその「しくみ」を構築する。 *人: <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開によって、連携・協働者を集め、人材の確保を図って(特に「橋渡し機能」保有者)人材マップを作り、それを活用する「しくみ」を作る ・適時、交流会セミナーなどで専門性を高め、課題の共有化を図る。 *先行モデル&市民活動法人・団体などのニーズ調査
KP&担当者	KP:吉田 担当:小山
目標スケジュール	約1年後を目処とする(詳細は作業工程表参照)。
概略予算	<ul style="list-style-type: none"> ・調査費(他県の報告書購入、アンケート調査票郵送など):50,000円 ・会議費(会場代、お茶):5,000円 ・検討報告書&提言書印刷費:5,000円 ・交流会開催費:30,000円
成果品の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・先行モデル調査報告書 ・ハード:運動を支える「ハード(諸施設)」の現状マップ(機能・条件・分野などを網羅)⇒山形市市民活動支援センターHPにアップ ・ソフト(しくみ):情報交流の機能をはたすべきネットワーク&交流情報の「しくみ」 ・人:「橋渡し機能の人材マップと育成プラン」&その活用要領(しくみ) ・市民活動関係者による「交流会」開催 ・ミニコミ誌・タウン誌など

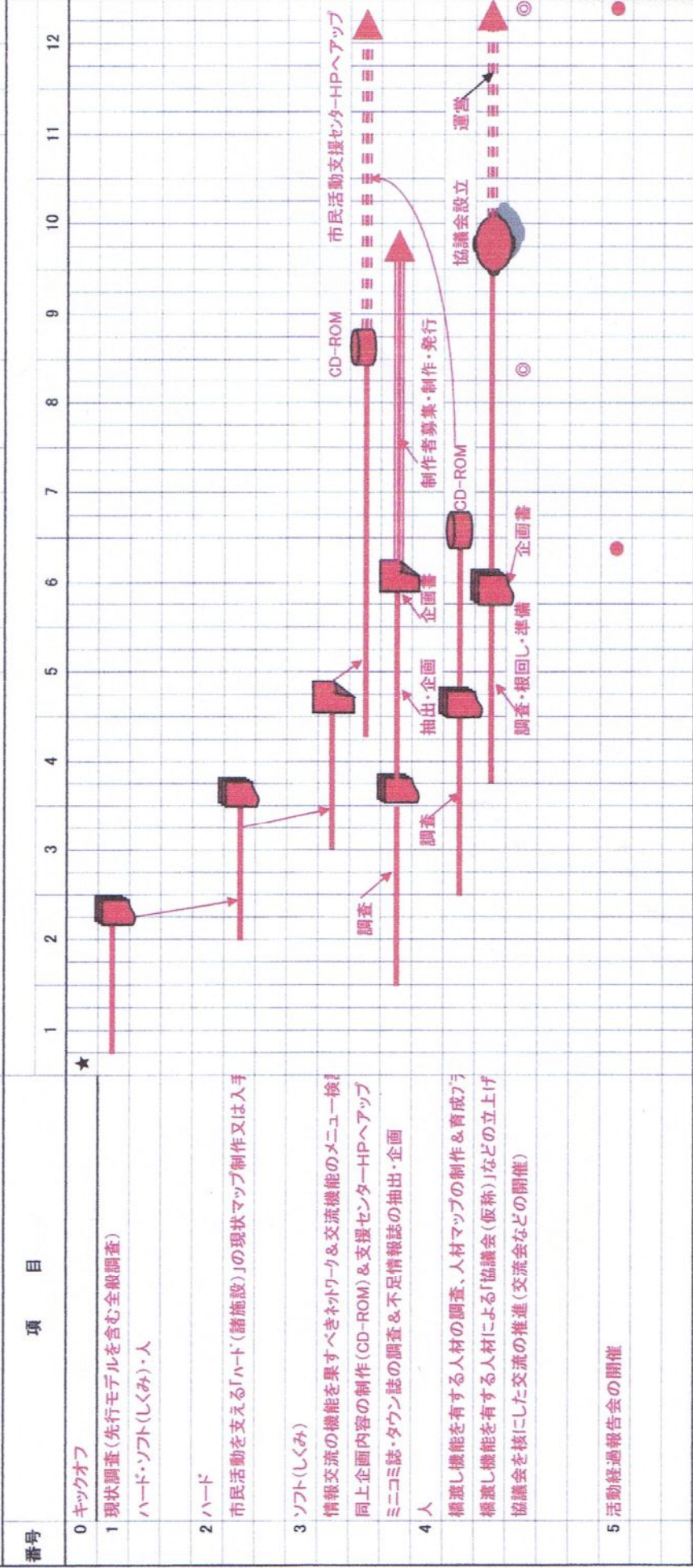
作業工程表

JOBコード □-□-□-□-□-□-□-□-□-□-□-□

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称	改訂 日付	摘要	作成 検討 承認
「経営マインドとプロジェクトマネジメント手法」JWS講座	市民活動のネットワーク(中間支援、分野毎、etc)の構築 市民活動間及び行政と市民活動間の「橋渡し」機能の構築 (a)	0 2007/3/17 初発行		小山 黒沼 吉田



番号	項目	承認	検討	作成
0	キックオフ			
1	現状調査(先行モデルを含む全概調査) ハード・ソフト(しくみ)・人			
2	ハード 市民活動を支える「ハード(諸施設)」の現状マップ制作又は入手			
3	ソフト(しくみ) 情報交流の機能を果たすべきネットワーク&交流機能のメニュー検討 同上企画内容の制作(CD-ROM)&支援センターHPへアップ ミニコミ誌・タウン誌の調査&不足情報誌の抽出・企画			
4	人 橋渡し機能を有する人材の調査、人材マップの制作&育成プログラ 橋渡し機能を有する人材による「協議会(仮称)」などの立上げ 協議会を核にした交流の推進(交流会などの開催)			
5	活動経過報告会の開催			
備考		承認	検討	作成
配付先		吉田	黒沼	小山

個別テーマ計画書(添付1)

No	(b)
レベル-1項目	使命(ミッション)の保有、共有、確認
レベル-2項目	<ul style="list-style-type: none"> ・共通の大きな理念とその共有のためのネットワークのリーダーシップが不可欠 ・市民活動は何をすべきか?を考えたい
テーマ名	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の特長である現場主義(現場の課題に一番近い)を活かした活動の実現
現状	<ul style="list-style-type: none"> * 活動が個々に行われている * 活動組織(個人)の気質、想いが多様で情報が共有されるネットワークがないしリーダーも不足している * 市民活動は何をすべきか(共通&個々の使命)の共有不足 ⇒キーワードやキャッチコピー
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> * HP、ブログなどWEB上で情報ネットワークを作る * 活動法人・団体の定例会を開催する * 法人・団体毎の共通の理念を洗い出し、文章化してまとめる ⇒市民活動共通の理念・使命の立案
KP&担当者	KP:吉田 担当:長岡
目標スケジュール	2008-2-28
概略予算	通信費(アンケート調査費等): 35,000/1回(DM) 事務費: 1,000円/月(HP、mail) WEBネットワーク制作(CD-ROM): 50,000円 ⇒山形市市民活動支援センターのHPへアップ
成果品の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・活動グループの案内HP(顔の見えるHP) ・年間を通じた定例会の企画立案&実施 ・全体の情報を管理できる支援組織(中間支援)を立ち上げる

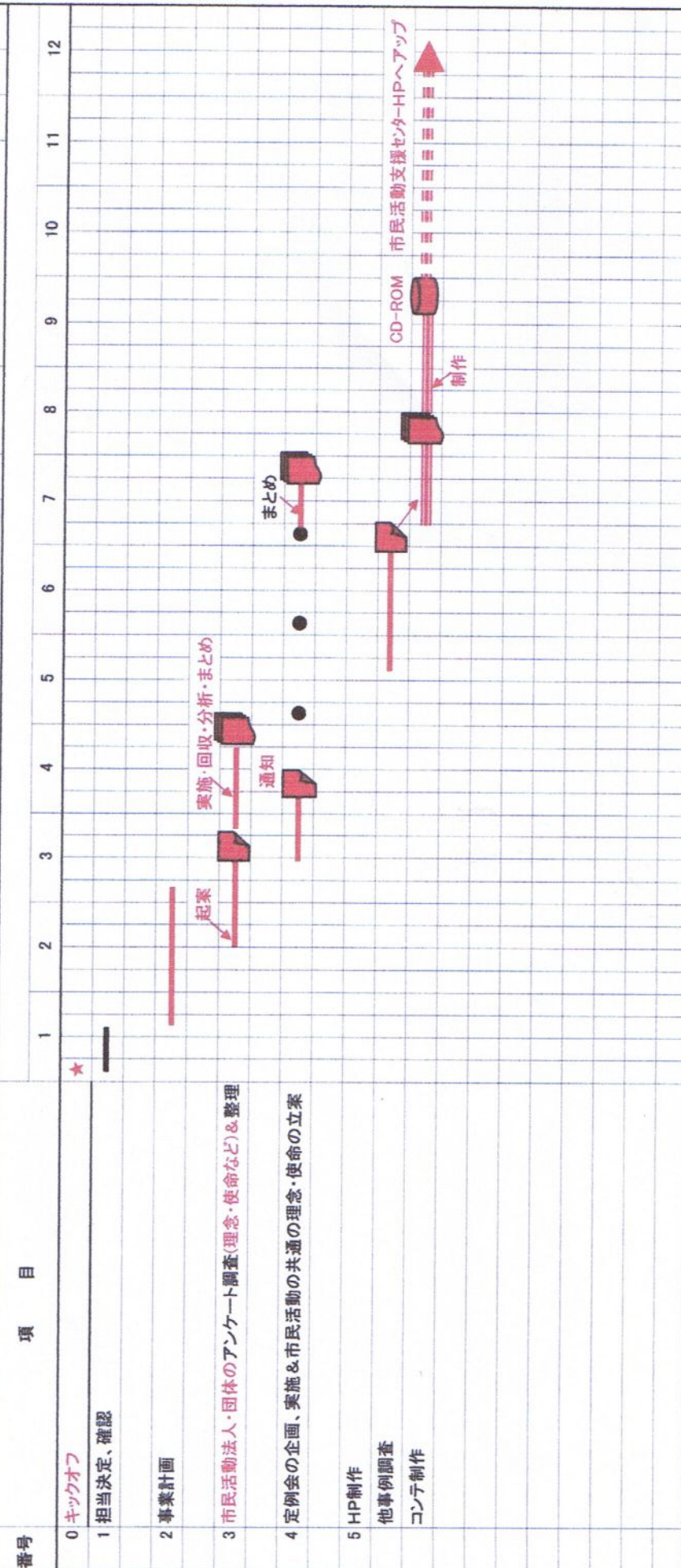
作業工程表

JOBコード □-□-□-□-□-□-□-□-□-□

DOC. No. SKS-BF-PL002

年 月 日 作成 頁

御注文先	プロジェクト名称	改訂 日付	摘要	作成 検討 承認
「経営マインドとプロジェクトマネジメント手法」WS講座	市民活動の特長である現場主義(現場の課題に一番近い)を活かした活動の実現(b)	0 2007/3/17 初発行		長岡 黒沼 吉田



備考	承認	作成
	吉田	黒沼
配付先	黒沼	長岡

個別テーマ計画書(添付1)

No	(c)
レベル-1項目	活動の持続性、継続性(サステナビリティ)の確保
レベル-2項目	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サイドの課題の検討 ・市民活動サイドの課題の検討
テーマ名	<p>活動の持続性、継続性(サステナビリティ)の確保実現のため方策を検討する(市の共創指針の下記一例を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政支援施策の継続性の確保 ・市民活動の財源確保のための検討 ・市民活動運営スキルの向上
現状	<ul style="list-style-type: none"> * 支援施策の情報が届いていない * 行政サイドと市民活動サイドお互いの認識(コミュニケーション)不足
実現方法	<ul style="list-style-type: none"> * 情報収集: 他市他県における各種課題とその解決事例を調査する * 収集情報の分析結果を参考にし、市民活動側と行政側が協働してワークショップを実施して報告書に纏め、その上で上記テーマを含め「市の共創指針」の中の諸課題について解決方法を提言する
KP&担当者	KP:田宮 担当:有川
目標スケジュール	約1年後を目処とする(詳細は作業工程表参照)。
概略予算	<ul style="list-style-type: none"> ・調査費(他県の報告書購入、アンケート調査票郵送など):50,000円 ・会議費(会場代、お茶):10,000円 ・検討報告書&提言書印刷費:5,000円
成果品の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民活動との共創指針」に対応したワークショップ報告書 ・市民活動の持続性、継続性(サステナビリティ)の確保のための行政サイドの課題&市民活動サイドの課題を網羅した提言書

